

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

矢田西小	学校	児童数	39
------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	13.79	15.45	30.59	40.00	50.36	9.30	146.50	18.00	49.05
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	13.50	15.25	35.14	39.08	40.50	9.32	153.38	12.54	53.58
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

大阪市平均・全国平均との比較では、体力合計点では男子はどちらも下回り、女子は大阪市平均を上回った。個々の種目別にみると、男女とも20mシャトルラン、50m走で大阪市平均・全国平均を上回り、持久力や走る技能が向上していることが分かった。一方で、その他の種目については、大阪市平均・全国平均を下回るものが多く見られる。

質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」については、男子は95.2%、女子は93.4%の児童が「好き」あるいは「やや好き」と肯定的な回答をしており、大阪市平均・全国平均を上回っている。

1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が0%の一方で、女子が25%と男女で運動習慣に大きく差があることが分かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、毎年2学期にはランニング大会とそれにともなったランニング集会、3学期にはなわとび週間などに取り組んできた。ランニング集会やなわとび集会の時期になると自発的に運動場を走ったり、なわとびをしたりしている児童も見られる。また各学年・学級においても休み時間にみんなで遊ぶ機会を設けるなど、元気に遊ぶことが日常化している。

また、本校児童は、運動やスポーツへの関心は高く、運動の日常化は概ねできているが、調査結果から、握力や上体起こし、ソフトボール投げといった、上半身を使った動きに課題があることが分かった。休み時間や放課後など、児童が自発的に運動に親しむだけでなく、体育科の学習に関する指導方法や教材・教具の工夫、指導計画の検討を行い、運動能力の向上を図っていく必要がある。